

次に淳和獎學兩院別當の宣旨官務持いづる、其度ごとに亂箱に砂金一裏づ、入て賜はる、
〔泰平年表 東照宮〕慶長八年二月十二日、伏見城に於て、將軍宣下、征夷大將軍淳和獎學兩院別當源
氏長者牛車を許され、隨身兵仗を賜る、當代年錄に、(中略)征夷大將軍は、賴朝以來、武將の任に候へば、室町代々、御補任にて、他家より望申事不叶(中略)信長秀吉天下を取給へども、本朝の掟にまかせ、終に任ぜず、然るに室町公方(足利義昭)浪人の後、御子もなし、家康公大和にて、御扶助御介抱被成候八ヶ年以前、御果の時分、室町代々の重寶を家康公へ御讓被成、何卒此號、御相續被成下、候様頼申候よし、遺言なされ、御果の後、室町代々の例に任せ、贈官井諡號、靈陽院殿と申相續被成下、衣笠の等持寺にて御追善あり、箇様に何も御望の號不叶し、自然に、内府公に渡し、無左右御補任、目出度御事申計なし、

〔實久卿記〕天保八年九月二日丁丑、今日登城也、○中左大史以寧宿禰、宣旨持參、箱候廣廂左少將義周朝臣、宮原也出向取之、昇上段覽大樹公、○德川家慶同公披見之、征夷大將軍、兩院別當、源氏長者、兩宣旨以上四通、○下略

〔言成卿記〕慶應二年十二月四日、明五日、德川中納言慶喜、一橋黃征夷大將軍右大將淳和獎學別當、權大納言宣下、昨三日被仰出、去月廿七日、御内意云々勅使武傳、飛鳥中納言、野宮中納言親王使三卿新源中納言通富、准后使堀川新三位云々、著座公卿日野新大納言、光愛廣橋大納言、胤保等有之云々、是風聞云々、不慥云々、於二條城請勅使云々、勅使以下衣冠單、雜色供網代與先麻上下、箱打物雅俗打交云々、併風聞不慥云々、急卒亂世、可歎々々、如踐薄氷、五日、今日德川慶喜、征夷大將軍大納言正二位右大將和

獎學兩院別當宣下云々、消息宣下云々、御使以下、○中各衣冠單參向云々、於柳營束帶歟、
〔中臣氏系圖〕延喜本系解狀、○中
同本系云

黑田大連公生二男、
中臣常磐大連公、氏上、○中略

右大連、姓賜中臣連姓、磯城島宮御宇天國押開廣庭天皇、○欽之代、特蒙令譽恪勤供奉者、○中略
中臣常盤大連公生一男

中臣氏長者
忌部氏長者
卜部氏長者